

10月14日

第2回放課後児童クラブ支援員研修会「救命処置」IN 風の子クラブ

つくしクラブ 西村巧

勝手に予約しての勝手に研修してねの初のスタイルの市役所研修。  
行政の手抜きなのか、はたまた新常識のパイオニアを目指しているのかは知る由もないが  
兎にも角にも「やれ」と言われればやらなければいけないし、やるべきことはちゃんとやる  
のが自分のモットーなので今回の研修の場である「風の子クラブ」へとりあえず足を運んだ。

今回の研修は消防署の方から講師を招いての救命措置のお話。  
元消防士のOBの方だったが、現役時代の実体験を交えながら多少緊張した口調で丁寧に  
説明してくれた。  
後半はAEDの講習。

でも本来はAEDは講習を受けなくても一般人が使えるシステムにしなければならない。  
いざというときの咄嗟のAED。

使えるか？

躊躇しないか？

現場で活躍してきたであろう元消防士の今回の講師にしても一番最初のAEDのスイッチオンはトラウマとして覚えているとのこと。

そんなこと聞いてしまったら余計にAEDに躊躇する。

そのトラウマを軽減するべくAEDの改良もまた早急に進められ、早急に設置されるとの事。  
はてさて今回の研修を受けたことでの緊急時の対応と、研修を受けなくてもそういった状況に遭遇してしまった人との違いはその人の性格に委ねるものが大きくなりそうだ。

しかしながら研修を受けたことで「知ってる」点では一歩前に出ることが出来たか・・・